

小中高 大 **キャリア教育** 拡充へ

県内経済 3 団体が提言

県主導で調整機関を



統合的なキャリア教育を確立するための協議会設置を提言した福井経済同友会の八木代表幹事(左)＝6日、県庁

福井経済同友会、福井商工会議所青年部、福井青年会議所の県内経済 3 団体は 6 日、小学校から大学まで統合したキャリア教育のシステムづくりや、学校と企業のマッチングを行う調整機関「県キャリア教育推進協議会(仮称)」を、県主導で設置するよう西川知事に提言した。現在は 3 団体が独自に取り組んでいるキャリア教育活動の情報を同協議会が集約し、教育現場や児童生徒らのニーズをくみながら県内一円に拡充させる狙い。

(土生仁巨)

3 団体は地元企業や地場産業の魅力を伝えることで人材流出を食い止めて U・イーター

ンにつなげようと、県内高校、大学、福井市内の小中学校で独自に出前授業や教頭らとの

懇談会を行ってきた。

2013 年度からは 3 団体と福井市教委が連携し、中学生の職場体験学習を実施。受け入れ企業は工夫を凝らした研修内容を盛り込んだエントリーシートを市教委に提出し、市教委が生徒の希望とのマッチングを行ってきた。この結果、生徒の選択肢に幅ができたほか、場当たりのでない充実した職場体験が可能になったという。14 年度には 31 社 156 人が参加した。

これらの活動は一部の企業、学校にとどまっており、提言は 3 団体の取り組みを県内一円に発展させ、小中学校、大学の垣根を越えた統合的なキャリア教育の確立を目指す狙い。県

内の学校、生徒らの要望や企業情報などを集約、調整する機関として県主導で同協議会を設置することを求めている。企業のエントリーシートや体験した生徒らの報告を同協議会がデータベース化し、インターネットで閲覧できる環境づくりも提案している。

県庁で行われた会見で福井経済同友会の八木誠一郎代表幹事は「産学官が一体となったマッチング研究を行うことで、優秀な人材を一人でも多くつくり出していきたい」と述べ、提言を機に福井がキャリア教育先進地となることへの期待感を示した。

キャリア教育推進

経済3団体 協議会設立を提言

日本一のシステムづくりへ



「日本一のキャリア教育システムをつくり、人口減少の歯止めにつなげたい」と語る福井経済同友会の八木誠一郎代表幹事(右から2人目) 県庁で

井市長に提言した。

提言によると、協議会は県教委や各市町教委、経済団体、キャリア教育コーディネーターなどでつく

る。職場体験や出前授業のマッチング、連携システム作りを担う。

さらに、企業や子どもが提出する職場体験の内容や成果を記した「エントリースシート・報告シート」も協議会が一元管理。県や市町などのホームページとのリンクで公開し、県内外の学生や就業者の県内就職やインターンにつなげる狙い。

県庁で会見した福井経済同友会の八木誠一郎代表幹事は「各団体には約十年間に及ぶキャリア教育活動のノウハウがある。日本一のシステムをつくり、人口減少の歯止めにつなげたい」と意欲を見せた。

(山内悠記子)

福井経済同友会と福井商工会議所青年部、福井青年会議所は六日、県内全体で小学生から大学生までのキ

ャリア教育を推進する「県キャリア教育推進協議会」(仮称)を設立するよう西川一誠知事と東村新一・福